



平成 21 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 サクサホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉岡 正紀
 (コード番号 6675 東証第1部)
 問合せ先 経理部長 井上 洋一
 (TEL. 03-5791-5511)

平成 21 年 3 月期の有価証券評価損および連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社の保有する「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 21 年 3 月期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

併せて、最近の業績動向も踏まえ、平成 21 年 2 月 6 日に公表した平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期における有価証券評価損

| | 連結 |
|--|---------|
| (A)平成 21 年 3 月期第 4 四半期会計期間(平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額(=イ-ロ) | 10 百万円 |
| (イ)平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額 | 743 百万円 |
| (ロ)直前四半期(平成 21 年 3 月期第 3 四半期)累計期間(平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額 | 753 百万円 |

四半期における有価証券の評価方法は、洗い替方式を採用しております。なお、平成 21 年 3 月期第 3 四半期において減損処理を行った株式等について、一部時価の回復があったことなどから、「(A)平成 21 年 3 月期第 4 四半期会計期間の有価証券評価損の総額(=イ-ロ)」はマイナス(戻入)となっております。当社の決算期末は、3 月 31 日です。

純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

| | 連結 |
|-------------------------|------------|
| (B)平成 20 年 3 月期末の純資産額 | 24,562 百万円 |
| (A/B×100) | 0.0 % |
| (イ/B×100) | 3.0 % |
| (C)最近 5 事業年度の経常利益額の平均額 | 2,252 百万円 |
| (A/C×100) | 0.4 % |
| (イ/C×100) | 33.0 % |
| (D)最近 5 事業年度の当期純利益額の平均額 | 1,514 百万円 |
| (A/D×100) | 0.7 % |
| (イ/D×100) | 49.1 % |

2. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|----------------------------------|---------------|------------|------------|--------------|-----------------|
| 前回発表予想（A） （平成 21 年 2 月 6 日発表） | 百万円 43,000 | 百万円 600 | 百万円 800 | 百万円 1,500 | 円 銭 24.69 |
| 今回発表予想（B） | 44,000 | 170 | 230 | 1,380 | 22.72 |
| 増減額（B - A） | 1,000 | 430 | 570 | 120 | |
| 増減率（％） | 2.3 | | | | |
| （ご参考）前期実績 （平成 20 年 3 月期） | 51,536 | 1,265 | 806 | 505 | 8.32 |

3. 業績予想修正の理由

平成 21 年 2 月 6 日に修正いたしました業績予想を、その後の状況変化から修正を行うものであります。

前回予想に対し、売上高の増加および経営改善施策の実施により経常損失は減少する見通しとなりましたが、投資有価証券の減損による特別損失の発生や繰延税金資産の一部取崩などにより、当期純損失はほぼ予想どおりの見通しとなりました。

（業績予想に関する注意事項）

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものです。実際の業績は、さまざまな要因により、この予想値とは異なる場合があり得ることをご承知おきください。

以 上